

# 視聴覚教育

NO. 215

発行日 7. 9. 1

発行所 岡崎市AVL  
編集 岡崎市視聴覚教育委員会  
広報

視聴覚キーワード  
「ハイビジョン」  
NHKを中心に開発が進められてきた新しいテレビの方式。従来の方式に比べ、走査線数は五二五本から一一二五本、画面の縦横比は三対四から九対一六になり、画像・音声ともに良質。

## 視聴覚教育の視野を広げる

### 実技講習会

視聴覚部長 岩瀬 則次

七月下旬から八月月上旬にかけて、例年のように視聴覚関係の実技講習会を開催した。

昨年、岡崎市は全国で唯一、郵政省のマルチメディア実験都市としての指定を受け、学校教育の分野で運営することとなった。本年度は八校での実践が始まり、秋には三十校での実践が行われることになっている。学校教育の分野での実践が進められる背景になったのは、四十年にわたったの視聴覚教育活動のたゆみない努力と輝かしい実績が評価されたものである。

特に、自作ビデオ等のソフトの充実が目を見張るものがあるが、このように視聴覚教育活動が充実発展し、その裾野を広げる役割を果たしてきたのが、各種の実技講習会であると言っても過言でなからう。本年度も猛暑の中、多くの方々が講習会に参加され、熱心に受講された。この成果がますます広がることを期待している。

### 十六ミリ映写機操作認定講習会

七月二十九日(土)

於 太陽の城

十六ミリ映写機の取り扱い資格者を目的としたもので、社会教育関係五十八名、学校教育関係五十名の参加があった。

### VTR実技講習会

八月一・二日(火・水)

於 太陽の城

総勢二十五名の参加があり、学校教育を九班、社会教育を三班に分けて実施。例年より班の数を多くし、一班当たりの人数を少なくしたため、内容の濃い、充実した講習会となった。

### 校内放送講習会

八月四日(金) 於 竜美丘会館

校内放送の充実を図るため、各小中学校の放送担当教師と児童生徒を対象に開催した。NHKのチーフアナウンサーの野島正興氏の講演とメディア機器研修もあった。



## II 視聴覚教育あれこれ II 中学校放送コンテスト県大会の結果

七月一日、名古屋生涯教育センターにおいて、平成七年度第十二回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会が、県内二十九校が参加して行われた。

### 《アナウンス部門》

・最優秀賞 岩本 結衣 (葵 中)

・優良賞 松岡 美沙 (城北中)

・入 選 杉浦ひかり (常磐中)

### 《朗読部門》

・優良賞 佐野このみ (城北中)

・入 選 平山 和佳 (城北中)

### 《ラジオ作品部門》

・最優秀賞

『「秘密」守れますか?』 (常磐中)

### 《テレビ番組部門》

・最優秀賞

『がんばれ!! ヒアリングドッグ』 (常磐中)

・優良賞

『今、学校が...』 (矢作中)

なお、ラジオ・テレビ両

番組部門で最優秀賞に入選した常磐中の二作品は、いずれも全国大会において、優秀賞に入選した。



# 「放送委員会、

# 楽しいよ!!」

広幡小学校 濱田 律子

「放送委員会に入りたい人。」

しんと静まりかえった教室。昨年度の五年生一学期、委員会を決めるときのこと。例年のように希望者多数で困るだろうと予想していた私は、正直言って、少し驚いた。

最終的に放送委員に決まったK子。なんとなく入った委員会であったが、調整卓の扱い方を覚え、お昼の放送ができるようになる、仕事にも積極的になってきた。

七月、委員会最後の番組作り。K子の企画した「なになげ大会」を行うことに決まった。つい立ての間を何がとんでいったか当てるクイズである。いつもは、調整卓を操作しているK子だが、その日はカメラの前でマイクを握りしめ緊張ぎみ。

「今のは何だと思えますか?——正解です。」

「何、今とんでいったのダンボール?」

給食の時間、テレビを見ながら教室では、会話がはずむ。みんなになかなか好評で、K子も満足気である。

「放送委員会に……」



「はい、はい。」と私の言葉が言い終わらないうちに、たくさんの手が挙がる。一学期の委員会の番組作りがきっかけとなり、校内放送やカメラなどの機器に興味を持った子も多いようである。二学期の委員会決めでは、なかなかの人氣であった。

「放送委員会、楽しいよ!!」

K子の声が明るく教室に響いた。これからも子供たちが中心になり、活動できる放送委員会の活動を進めていきたい。

II レッツ トライ!!

## ニユースでびっく!!

「縄文時代に、あんな大きな家をつくったなんてびっくりしたよ。」

「これからも、いろんな発見があつて、大昔の日本のことが少しずつはつきりしてくるかもしれないね。」

社会科の授業でテレビのニュース番組『青森三内丸山遺跡』を視聴させた。子供たちは、これまでの縄文観を覆すような発掘調査の画面に釘づけになり、古代史への興味を深めていった。

苦勞して制作したビデオも、年月を重ねるうちに色あせたものになっていく。その点テレビのニュース番組の内容は常に新鮮で、子供たちの知識欲を喚起する刺激に満ちている。

ニユース番組の授業における利用価値は、ますます大きくなってくるであろう。

(六北中 近藤 義孝)

## ライブラリーだより

### ☆自作TP作品募集

市内の幼稚園や小中学校に勤務する先生方の自作したTP教材を募集しています。

### ・規定

- (1) 一時間または一単元で、教科・領域は自由
- (2) 一人一作品で、TP枚数は制限なし
- (3) 未発表のもので、作成方法は自由

### ・応募方法

- (1) TP一枚ごとに校・園名、氏名を記入
- (2) 応募個票一枚を厚手の封筒の表に貼付
- (3) 応募個票六枚とTPを同封

### ・応募先

岡崎市視聴覚ライブラリー 十月十一日必着  
※ アイデアに富んだ作品をお待ちしております。どしどしご応募ください。

### ☆校内放送番組のビデオテープ配布

八月四日に行われた校内放送講習会で、市内2小学校と2中学校の校内放送番組をダビングしたテープを、全小中学校に配布しました。校内放送のいっそうの充実を目指して、ぜひご利用下さい。

### ☆教材配達サービスのお知らせ

二学期の教材配達サービスは九月五日(火)から開始します。

